

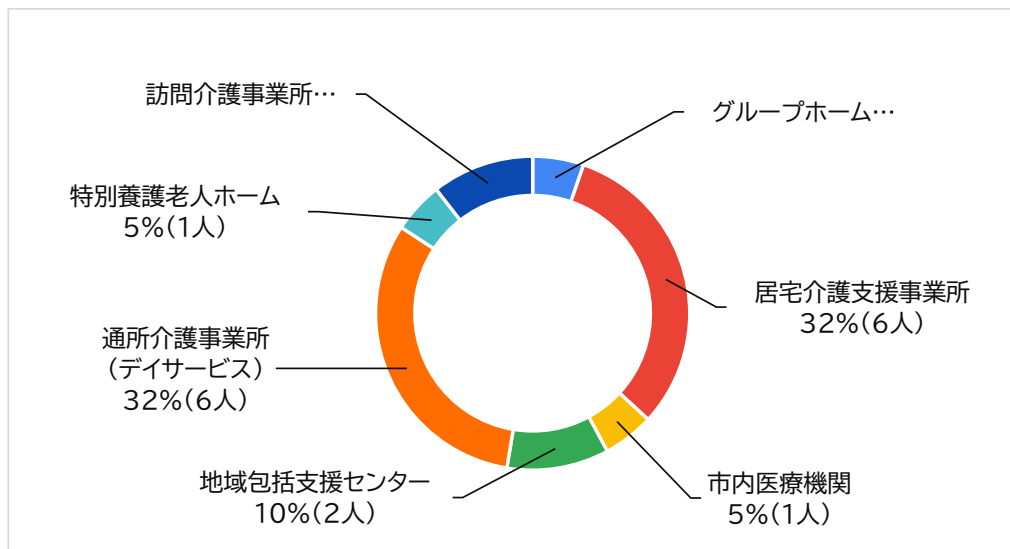
第4回いしふかアンケート結果

令和7年2月6日

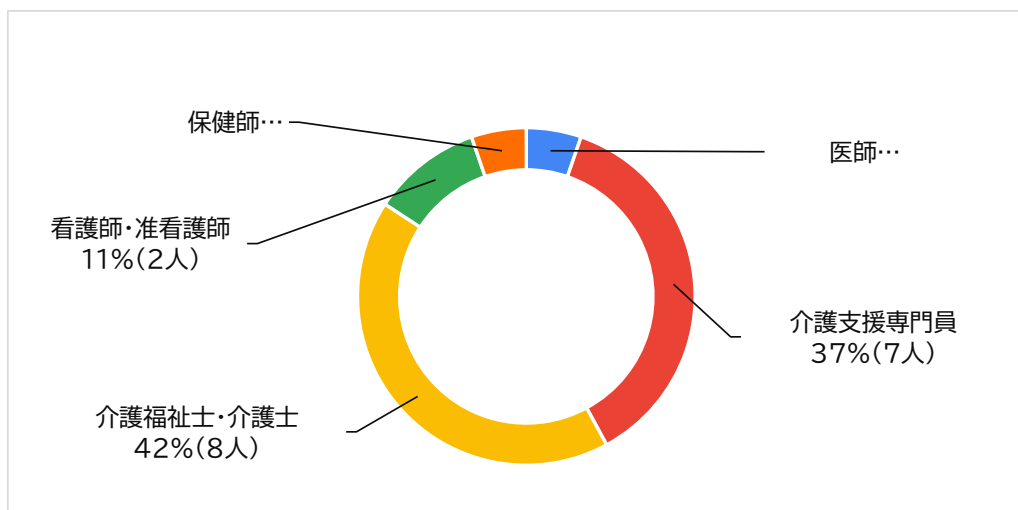
参加者40人 回答者19人

回収率47.5%

1. 所属先

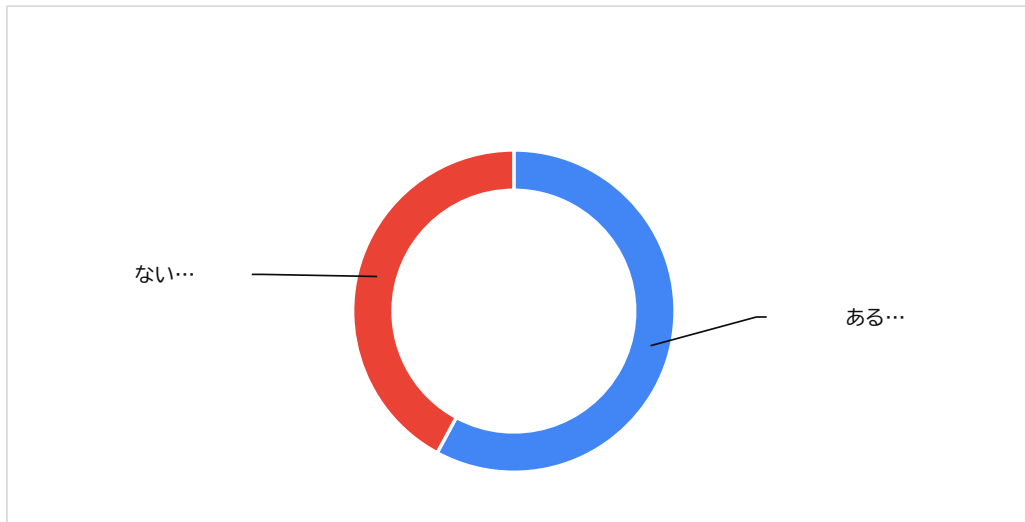


2. 職種

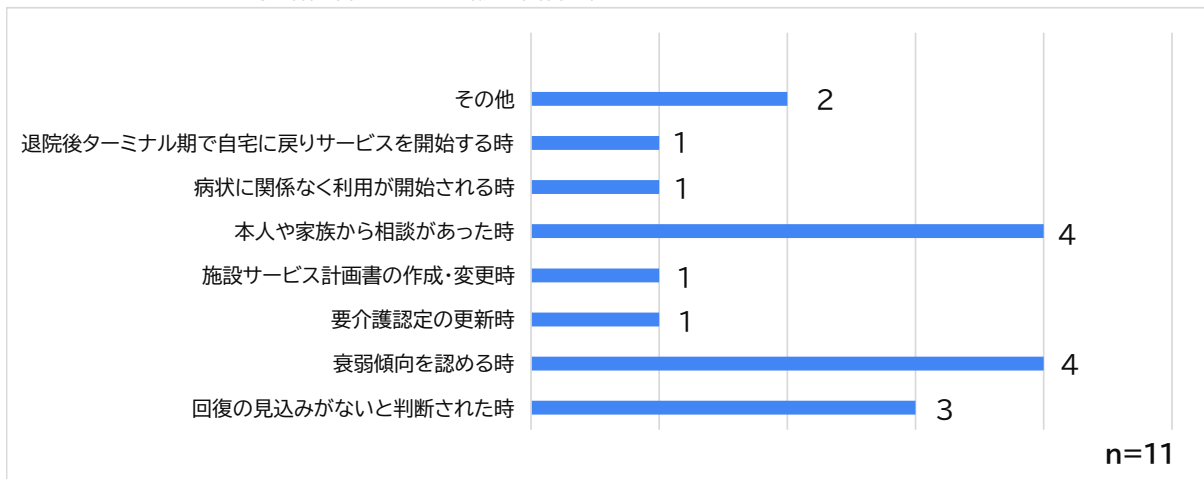


3. 講話「介護施設で最期までケアすること～グループホームでの“看取り”の実践について～」についてうかがいます

講話の中に「ACPはタイミングも大切」とありましたが、あなたは、ご利用者様と「人生の最期までどのように過ごしたいか」話し合ったことはありますか



4. ご利用者様と「人生の最期までどのように過ごしたいか」話し合ったことが「ある」と答えた方へうかがいます
どのようなタイミングの時に話し合いましたか(複数回答可)



その他のご意見

・認知機能低下がみられてきたとき

・改まってではなく、会話の流れのなかで利用者様から話が聞かれたことをきっかけに話をしたことがある。利用者様に自分から話題をふったことはない。

5. ご利用者様と「人生の最期までどのように過ごしたいか」話し合ったことが「ない」と答えた方にお伺いします
差し支えなければ、話し合ったことがない理由を教えてください

・特にない

・お聞きしたいが話しづらい

・どこでどのような最期を迎えたいか

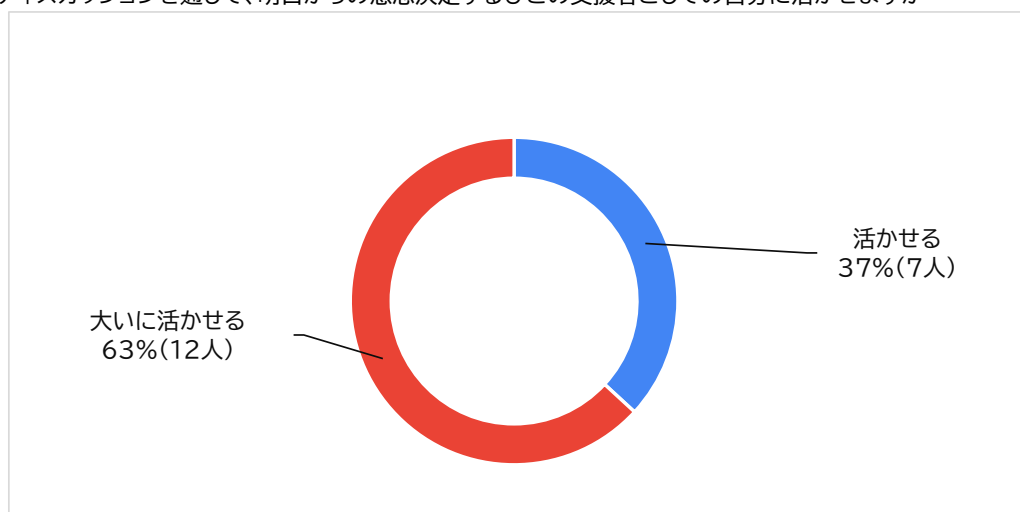
・通所施設なので、話し合う機会がない

・デイなため最後を話す機会は少ないと思われる

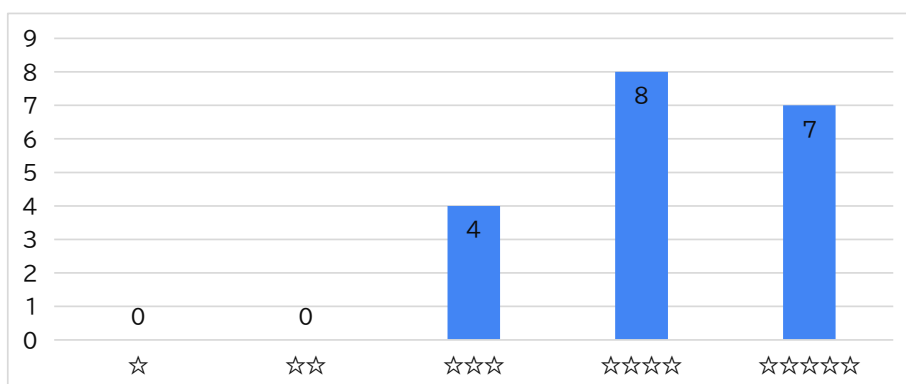
・深くは話した事がなく、どう話したら良いか迷ったり、人生最後の話しをして良いのかなぁと思ったりした

・デイサービス勤務ということもあるかもしれませんが、そのようなテーマを利用者様に投げ掛けたことがなかった

6. 梅宮将先生、斉藤揚三先生、土屋菜歩先生とのパネルディスカッションについていかがいます
パネルディスカッションを通して、明日からの意思決定するひとの支援者としての自分に活かされますか



7. 「いしふか」に参加する前と今では意思決定支援をするひとの支援者としての自分は深められましたか



8.本日の感想等がございましたらご記入ください

・施設の看取りの実際と、入所されてる方のACPについて生の声を聞くことが出来たことがとても勉強になりました。

・本人と支援者との関係性の構築がないと看取りについての確認をとる事は難しいと思いました。自分で話が出来ない方の意思決定支援を再度確認したい。

・様々な事業所のかたの意見を聞けて良かったです

・4回通して準備お疲れ様でした！

・死は特別なことではない。自然な形で望む形で迎えられるようにこれからもサポートしていきたいと思います。

・改めてその人の人生や背景をしっかりと見直し、心の思いや意向を言って頂ける信頼関係や安心できるケアが大切だと思いました

・4回すべての勉強会に参加でき、本当に奥が深いテーマだと思いました。グループホームSAKURA の取り組みも学びになりました。管理者の梅宮氏の人間性が利用者様に信頼されているからこそ、利用者様が人生の最期について率直に語られたのだと思います。毎回ともあつという間の有意義な時間でした。来年度も開催されるのであれば、是非事業所の他の職員にも参加してもらいたいと思いました。運営に携わった皆さん、ありがとうございました。

・講師の梅宮さんみたいに自分は利用者さんに接することができていたかなと振り返りをしながら傍聴していました。思い込みで最後にいて欲しいのは家族と決めつけてしまいがちですが、人それぞれなので、関係性を築き、ひとつひとつ思いを引き出してあげたいと思いました。また、これからも連携を大切に、本人の意向に寄り添い、支援していきたいです。これからも支援者として、学び、考え、行動していこうと思わせてくれる講話をありがとうございました。

・その人のことをその人抜きで決めない、人生の最期だけでなく、日常のケアの場面でも言えること。ケアマネの立場の自分だけでなく、ケアに関わるスタッフ全てが気づかなければいけないことだと思う。利用者や家族だけでなく職員の考え方も変わってきている。伝えることの難しさ、少しでも考えてみようと思わせること難しさに悩んでいる。